

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-029
補助事業名 平成26年度 自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な
社会作りを推進する事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容『[サイクルドリームフェスタ 2014](#)』の開催

① 自転車月間推進

(<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/bikemonth/2014/2014repo1.html>)

平成26年度自転車月間推進事業の報告と決算報告の審議及び平成27年度自転車月間事業の実施計画と予算等を審議するため、自転車月間総会を開催した。

また、「自転車月間（自転車の日／5月5日）」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2014』を開催した。



「サイクルドリームフェスタ 2014」入り口

「サイクルドリームフェスタ 2014」会場様子

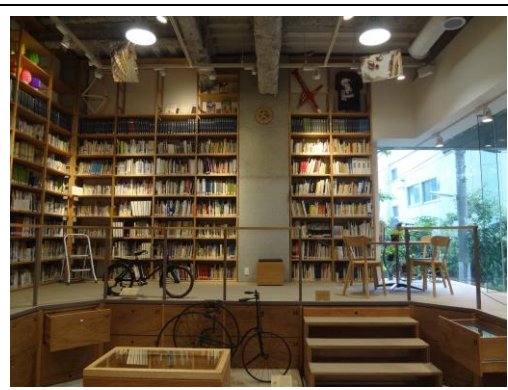
(別紙5)

② 自転車情報提供事業 (<http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/>)

自転車の情報発信基地である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。(来館者数6,872名)



自転車文化センターライブラリー正面



(専門図書・自転車展示)

③ 自転車に関する企画催事

下記の企画催事を開催した。

名 称：「[2014 ハンドメイドバイシクル展](#)」

期 間：平成27年1月24日(土)～25日(日) (2日間)

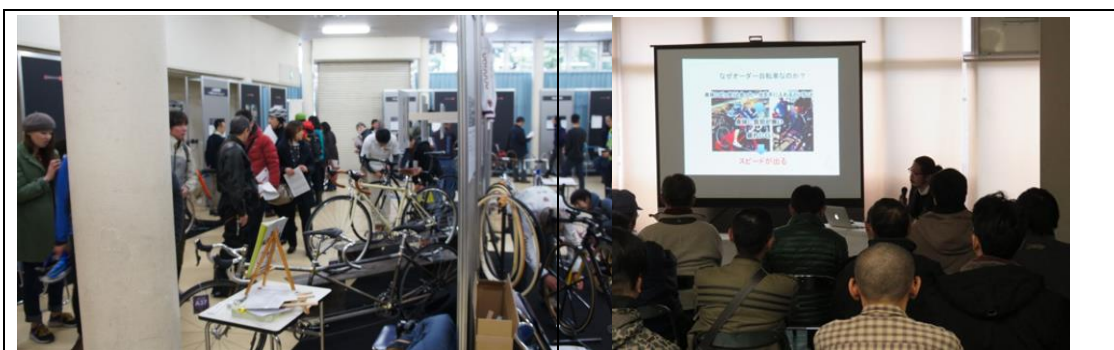
場 所：科学技術館1階 催物場

内 容：国内外のハンドメイドバイシクルのビルダー、メーカーの「実車展示」

斬新な新機構を試作し製品化を目指す「独創的なパーツ展示」

ハンドメイドビルダーによるトークショー&座談会

来場者数：計2,433人 (1日目1,255人/2日目1,178人)



会場の様子

ビルダーによるトークショー

④ 自転車に関する特別展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下4テーマの特別展示を行った。

(1)「[自転車月間・自転車ロードレース<ツアー・オブ・ジャパン>展](#)」

期間：平成26年4月2日～6月22日

来館者数：1,212名

(別紙5)

(2)「子ども用自転車の歴史展」

期間:平成26年7月1日~9月28日

来館者数:1,874名

(3)「自転車が語る昭和展」

期間:平成26年10月7日~平成26年12月27日

来館者数:1,685名

(4)「ハンドメイドバイシクルの魅力展」

期間:平成27年1月16日~3月25日

来館者数:1,290名



「自転車月間・自転車ロードレース
〈ツアー・オブ・ジャパン〉展」



「子ども用自転車の歴史展」



「自転車が語る昭和展」



「ハンドメイドバイシクルの魅力展」

⑤自転車出張教室

下記の通り、自転車の安全利用教室・講習会を開催した。

(1)「第4回CC等々力エコ暮らしこフェアでの自転車科学教室」

日時 平成26年5月18日(日) 13:11~14:30
場所 川崎市中原区等々力緑地内・等々力陸上競技場周辺
参加者数 約30名(1回15名×2回)

(2)「平成26年度第6回幸区PTA協議会親子自転車交通安全教室」

日時 平成26年7月12日(土) 9:00~12:30 (この間30分講話)
場所 川崎市戸手小学校
参加者数 約200名

(3)「子ども用自転車の歴史展見どころトークショー」

日時 平成26年8月30日(土) 14:00~18:00
場所 OVE南青山
参加者数 15名

(4)「自転車科学教室」

日時 平成26年9月15日(月・祝) 10:00~12:00
場所 大宮自動車教習所
参加者数 約20名

(5)「自転車の科学教室」

日時 平成26年9月24日(水) 10:15~10:30
場所 東京都交通局 北自動車営業所
参加者数 約120名

(6)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」(H26年度1~4回)

日時 平成26年11月11日(火) 第1回 9:30~12:00
第2回 13:30~16:00
平成26年11月12日(水) 第3回 9:30~12:00
第4回 13:30~16:00

場所 東京しごとセンター

参加者数 73名(11日:33名/12日:40名)

(7)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」(H26年度5~6回)

日時 平成26年12月4日(木) 第5回 10:30~12:00
第6回 13:30~16:00

場所 東京しごとセンター

参加者数 35名(第5回:23名/第6回:12名)

(8)「シルバー会員の就業経路途上における自転車事故の現状と対策講習会」

日 時 平成26年12月11日(木) 10:00~11:00

場 所 杉並区産業商工会館

参加者数 約70名

(9)「警察大学校専科教育における講義「自転車安全利用」」

日 時 平成27年1月20日(火) 14:20~15:40

場 所 警察大学校

内 容 警察大学校専科第2040期(交通安全活動課程)教養講義として、各都道府県警察本部の交通企画課において、交通安全教育等を担当している警部(同相当職員を含む)47名および聴講生(管区警察学校教官)3名を対象に、「自転車安全利用」について講義を行った。

参加者数 50名

(10)「安全な自転車の乗り方についての講習会」

日 時 平成27年2月10日(火) 13:30~15:30

場 所 公益財団法人 豊島区シルバー人材センター

参加者数 20名

(11)「高齢者のためのシミュレーターを使った自転車安全講習会」

日 時 平成27年2月25日(水) 午前 9:30~12:00

午後 13:30~16:00

場 所 公益財団法人 葛飾区シルバー人材センター

参加者数 40名(午前:18名/午後:22名)

(12)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」(H26年度7回)

日 時 平成27年3月12日(木) 13:30~16:00

場 所 東京しごとセンター

参加者数 17名

(13)「自転車安全講習会」

日 時 平成27年3月20日(金) 10:00~11:30

場 所 公益財団法人 新宿区シルバー人材センター

講 師 谷田貝学芸員

内 容 同センター主催によるシルバー人材センター会員を対象とした、安全な自転車の乗り方についての講義を行った。

参加者数 20名



親子自転車交通安全教室
(川崎市立戸手小学校)



トークショー
(OVE南青山)



自転車安全利用講習会
(東京しごと財団)



交通安全教室
(豊島区シルバー人材センター)

⑥自転車利用環境研究レポート

<http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/research/>

自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、8テーマのレポートを作成し、調査研究報告書を全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。



研究報告書(第7号)

目次

⑦バイコロジー地方組織開催 (<http://bikecology.bpaj.or.jp/>)

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。

また、キャンペーンにおいて配布する啓発チラシ（反射シール付）、自転車市民権宣言署名用紙を作成し、バイコロジー地方組織に配布した。



交通安全パレード（葛飾バイコロジー）

統一キャンペーン（岐阜バイコロジー）

⑧バイコロジー地域リーダー養成セミナー

(http://www.bpaj.or.jp/file_upload/100224/_main/100224_01.pdf)

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを2地区において、計2回開催した。



東京会場

福岡会場

2 予想される事業実施効果

① 自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

② 自転車情報提供事業

自転車に関するあらゆる情報を提供することにより、自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車に関連する知識を身につけ、昨今の自転車ブームを下支えする役割の一翼を担い、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

③ 自転車に関する企画催事

自転車に対する人気と関心の高まりから、人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとしても、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じた自転車の需要は今後も高まると思われる。

④ 自転車に関する特別展示

自転車に関する社会的な関心を高めて頂くことにより、自転車の文化的側面に関する関心が高まることが予想される。

⑤ 自転車出張教室

自転車利用者の交通ルール遵守・マナーの向上、自転車事故の減少につながる安全利用の普及啓発効果が期待できる。

⑥ 自転車利用環境研究レポート

社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方自治体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

⑦ バイコロジー地方組織開催

現在の社会状況に合致したバイコロジー運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及が進むものと予想される。

⑧ バイコロジー地域リーダー養成セミナー

各地域におけるリーダーの育成により、「バイコロジー運動」の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

(別紙5)

・平成26年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

(<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/bikemonth/2014/cdf2014report.pdf>)



・平成26年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2014』
来場者案内用チラシ

・平成26年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2014』
ポスター

「サイクルドリームフェスタ2013」チラシ(A4) ポスター(B2)



チラシ(表)、ポスター



チラシ(裏)

・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット



パンフレット(表)



パンフレット(裏)

(別紙5)

・バイコロジージャンパー



ジャンパー 前

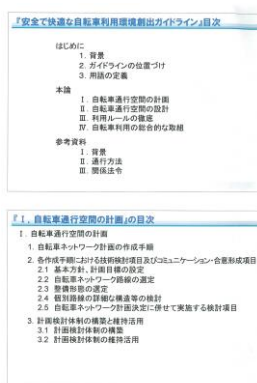


ジャンパー後ろ

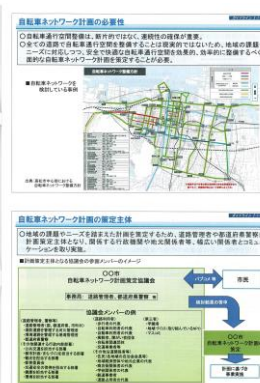
・バイコロジー地域リーダー養成セミナーテキスト (A3中綴じ)



テキスト表紙



テキスト中



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会
(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 代表理事 渋谷良二 (シブヤ リョウジ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 田中 栄作 (タナカ エイサク)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： jifukyo@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>